

最良の主治医

【質問】 健診でコレステロール値が高く、治療が必要とのことでした。主治医を探していますが、どのような医師が良いでしょうか。

(53歳・主婦)



かかりつけ医を持つとう

【回答】 五十代を過ぎるといろいろな病気が出てくるので、あなたの話をよく聞いてくれて、長く付き合えるかかりつけ医を持つことをお勧めします。

かかりつけ医は長く付き合う間に、患者の普段の体調や家族関係などの社会的背景を熟知しています。大げさな検査をしなくても患者の体調変化やストレスに

早く気づき、早めに治療を行うことができます。ですから、患者も日ごろから何でも気軽に相談しておくことが大切です。

がんや心筋梗塞(こうそく)などの重大な病気にかかったときも自分で腕の良い専門医を探すより、医療に通じているかかりつけ医に良い専門医を紹介してもらおう方がずっと得策です。高齢に

をやめ、専門医が本当に専門医の診療を必要としている患者に十分対応できるようにならなければならない。かかりつけ医を中心にして、専門医や救急病院、リ

なっても通院できるように、近くの医師をかかりつけ医にした方が良いでしょう。一般的には、かかりつけ医には病院の専門医より、診療所の医師の方が適しています。医師不足により、病院の専門医は多忙を極め、ゆっくり対応する時間がな

いのです。病院志向の患者が多いのですが、風邪などの軽い病気で病院にかかるの

患者の体調など熟知

- 三 薬や検査よりも、生活指導を重視する
 - 四 必要なきは専門医を紹介してくれる
 - 五 患者の家族の気持ちまで考えてくれる
 - 六 患者が住む地域の医療や福祉をよく知っている
 - 七 医療の限界を知っている
 - 八 患者の痛みやつらさ、悲しみを理解し、共感してくれる
 - 九 他の医師の意見を聞きたいという患者の希望に応じてくれる
 - 十 ショックを与えずに真実を患者に伝えられる
- この条件の幾つかでも満足する医師がいたら、長く付き合って信頼関係を築いてください。(県医師会)